

崩れ行くものゝ戯画

社会階級も教育にすぎない
岸本 英太郎

「崩れ行くもの」は、岸本英太郎氏の戯画集である。この集子は、戦後日本の社会状況を鋭く諷刺した作品が数多く収録されている。作者は、社会階級や教育制度の固定観念を打破し、人間の本質を追求しようとする姿勢が、この戯画を通じてよく表れている。

同胞の共感から 民族意識・階級意識の統一

田中 真晴

この戯画集には、同胞の共感から民族意識と階級意識の統一を目指すというテーマが色濃く出てくる。作者は、異なる階級や民族間の隔りを打破し、共通の人間性に基づいて社会を再構築しようとする理想を込めて描いている。

ぬかるみエッセー

日本産新聞人業



ぬかるみエッセーの一場面

維持でもぬ学界の理性

憲法を擁護し振る事情変更の願望
坂谷川 正英

この戯画は、戦後日本の学界や政治界の現状を鋭く批判している。作者は、憲法を擁護し、事情が変更されることを望むという立場から、学界の理性を維持する必要性を訴えている。

阿Qの落差生む卅年

藤松 仁

阿Qの落差が生む卅年というテーマは、戦後日本の社会変遷を象徴している。作者は、阿Q精神の残存や社会階級の固定化を批判し、新しい社会秩序の構築を促している。

珍しい文藝的香り

清水 光

この戯画には、珍しい文藝的香りがある。作者は、文学的な表現手法を用いて、社会の荒廃や人間の苦悶を描き出している。

道祖神



道祖神の境内

道祖神の境内という戯画は、戦後日本の精神状況を象徴している。作者は、伝統的な信仰と現代社会の衝突を描き、人間の孤独や不安を表現している。

中小路時計店

時計と眼鏡の店
京大醫學部前 藤野の角

この戯画は、戦後日本の生活様式の変化を反映している。時計や眼鏡の需要が増える中で、中小路時計店の経営者や職人の生活が描かれている。

遊説誌

遊説誌の巻頭

遊説誌の巻頭という戯画は、戦後日本の社会状況を鋭く諷刺している。作者は、政治界や学術界の現状を批判し、改革を訴えている。

世界の水準をゆく

キヤル-美松

世界の水準をゆくという戯画は、戦後日本の国際化を象徴している。作者は、世界の水準に合わせるための努力を描き、社会の進歩を促している。

この戯画は、戦後日本の社会状況を鋭く諷刺している。作者は、政治界や学術界の現状を批判し、改革を訴えている。

新刊書籍雑誌

進文堂書店

新刊書籍雑誌の紹介。進文堂書店から出版された最新の書籍や雑誌が紹介されている。

武田自転車店

武田自転車店の営業時間

武田自転車店の営業時間やサービス内容が紹介されている。

和進會

和進會の活動内容

和進會の活動内容や目的が紹介されている。

和進會の活動内容や目的が紹介されている。

優良図書特価販賣

養徳社提供

優良図書特価販賣のリスト。養徳社から提供された優良書籍のリストが掲載されている。

京極東宝

京極東宝の営業内容

京極東宝の営業内容やサービスが紹介されている。

和進會

和進會の活動内容

和進會の活動内容や目的が紹介されている。

和進會の活動内容や目的が紹介されている。